



友好関係を、 未来へつなぐ

枚方市と四万十市は、昭和49年(1974年)の友好都市提携以来、
半世紀以上にわたり交流を続けています。
その原点は、青年会議所の交流から始まりました。
枚方青年会議所と中村青年会議所は、永きにわたり先輩諸氏が紡いできた
友好関係の絆を受け継ぎ、
その関係を新たな価値の創出につなげたいという想いから、この冊子を制作しました。

この冊子では、ふるさと納税を通じて地域の魅力発信に取り組む両市の事業者を紹介し、
市民の皆さんに「まだ知らない隣のまちの魅力」をお届けします。

まずは「知る」ことから。

それが地域の事業者を「応援する」ことにつながり、
やがて両市の企業同士の新しいつながりや、地域の未来をひらく出会いが生まれることを願っています。



読者アンケート |
アンケートへのご協力をお願いします。

一般社団法人枚方青年会議所
〒573-0031 大阪府枚方市岡本町7-1-5 5階
TEL: 072-843-5306

一般社団法人中村青年会議所
〒787-0029 高知県四万十市中村京町2丁目32
TEL: 0880-34-2692



友好都市企業PR冊子

大阪府

ひらかた

×

しまんと

高知県

つながる力、ひろがる未来

PROPOSED BY

一般社団法人枚方青年会議所 × 一般社団法人中村青年会議所



ひらがたって、どんなまち？

大阪と京都の、ちょうど真ん中。 川と緑に抱かれたまち。

西に淀川、東に生駒の山なみ。川があったから、まちは栄えました。
江戸時代、ここは京街道56番目の宿場町。旅人や船で、毎日大にぎわい。
いまもまちのあちこちに、その暮らしの面影が残っています。

面積 **65.12** km² | 人口 **約39**万人 (令和8年7月末現在)



魅力 **01**

ひらかたパーク

営業しつづける遊園地としては日本最古。家族みんなで満喫できる人気スポットです。



魅力 **02**

枚方宿・鍵屋資料館

東海道の56番目、知ってましたか？江戸の旅人が船を待った宿です。



魅力 **03**

ひらかた菊人形

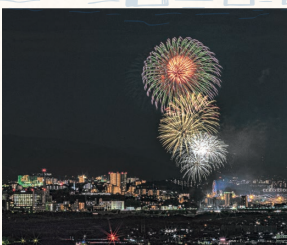
生きた菊でつくる人形。約100年つづく秋の風物詩です。



魅力 **04**

水都くらわんか花火大会

くらわんかの記憶と淀川文化を受け継ぎ、地域の命と祈りを映す花火大会。



四万十市と、50年の縁

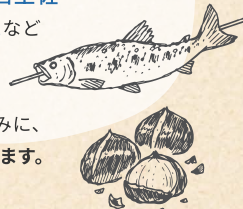
この縁のきっかけは、50年以上前。
昭和48年、枚方市と旧中村市の青年会議所(JC)が「姉妹JC」になりました。その翌年・昭和49年4月1日、両市は友好都市提携を結びました。……つまり、青年会議所から始まった人と人との交流が、やがて両市の友好都市締結という大きなつながりへと発展してきました。

1973 (昭和48) 年 ……枚方JCと中村JCが「姉妹JC」に
1974 (昭和49) 年 ……友好都市提携を締結
2005 (平成17) 年 ……中村市と西土佐村が合併し「四万十市」誕生
2008 (平成20) 年 ……枚方市制60周年を機に友好都市提携を再調印
2024 (令和6) 年 ……提携50周年。「第16回友好都市サミットin四万十」開催

ま・め
ち・し・き

見かけたことない？ 四万十の味。

毎年秋、枚方市で「友好・交流都市物産展」が開かれます。四万十市からは、天然鮎の塩焼き、西土佐の栗の焼き栗「ぼっぼ栗」、山間米などが到着。しかも売り子は、四万十市の中学生たち。修学旅行をかねて、特産品の販売に挑戦しているんです。ちなみに、淀川にも海から天然アユがのぼってきます。水のまち同士の、意外な共通点です。



和(なごみ)セルフケアツール



ボルトナット防錆キャップ まもるくん®

アクシスフォーマー®

ゴム・プラスチック製品製造業

ふるさと納税登録事業者

共和ゴム株式会社

所在地：大阪府枚方市長尾家貝町3-4-3
TEL：072-855-1039
Mail：info@kyowa-r.com



公式HP



公式YouTube

事業内容

産業用ゴム製品・プラスチック製品・スポンジ製品の製造販売。
地中埋設管用継手の設計開発・製造販売。
スポーツ用品・健康グッズの設計開発・製造販売。

どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

当社は工業用ゴム・樹脂・スポンジ製品の製造・販売を行っています。元々は下請け企業でしたが、経営危機を機に2000年から「下請け企業からの脱却」を掲げ、自社製品の開発に着手しました。経営方針である「スピード」と失敗を恐れないチャレンジ精神を大切に、ニッチな市場でシェアNo.1となる製品を数多く生み出すことを目指しています。施工現場の省人化に貢献する「なんでも継手」「目地フォーム」、インフラの長寿命化に貢献する「まもるくん」のほか、スポーツ分野の「MAT」、健康分野の「アクシスフォーマー」「和(なごみ)」など、社会のさまざまな課題やニーズに応える製品づくりに挑戦し続けています。

地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

枚方市で長年事業を続ける中で、地域の企業やお客様、スポーツ団体など、さまざまな人とのつながりを大切にしてきました。私たちの製品開発の原点は、現場の「こんなものがあつたらいい」「もっと便利にできないか」という声です。地域の方々と交流から生まれる気づきやニーズにも耳を傾け、当社が培ってきたゴム・樹脂・スポンジの技術を活かして製品として形にしています。また、地域で開催されるスポーツ大会への協賛や子どもたちへの支援などにも積極的に取り組んでいます。これからも地域とのつながりを大切にし、人と社会の役に立つ新しい製品やサービスを枚方から発信していきたいと考えています。

枚方市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

枚方市は、大阪と京都の中間に位置し、都市部へのアクセスに恵まれながら、淀川や生駒山系などの自然も身近に感じられる、暮らしと仕事のバランスが取れたまちだと感じています。また、長い歴史を持つ地域でありながら、新しい施設や文化が生まれ、まちが変化し続けていることも魅力の一つです。企業活動においても、地域の方々や企業などとの距離が近く、人と人とのつながりから新しい取り組みが生まれる環境があります。昔から受け継がれてきたものを大切にしながら、新しいことにも挑戦できる。その両方を持ち合わせていることが、枚方市ならではの魅力だと感じています。



電気・通信ハンドホール用継手
なんでも継手®

冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージをお願いいたします。

この冊子を通じて、枚方市と四万十市には、それぞれの地域に根差し、さまざまな想いを持って活動されている企業やお店があることを知っていただければと思います。私たちが枚方市で長年事業を続けてきた企業として、今回このような形で四万十市の皆さまとつながる機会をいただけたことを嬉しく感じています。この冊子が、お互いの地域や企業を知るきっかけとなり、新たな交流やご縁につながっていけば幸いです。今後も地域とのつながりを大切にし、ものづくりを通じて皆さまのお役に立てる企業を目指してまいります。



Kyowa Rubber Co., LTD



公式HP

Instagram

多田製茶株式会社 茶通仙 多田製茶

所在地：大阪府枚方市元町1-40-1

TEL：072-857-6056

Mail：info@tsusen.net

事業内容

枚方で創業160余年の製茶問屋。全国の生産者から荒茶を仕入れ、自社工場で仕上げ・火入れ・合組を行っています。また、グランプリ受賞歴を持つパティシエが洋菓子を焼いており、日本茶とお菓子を通じて『自由で、楽しい日本茶』を提案しており、本店には小さなカフェも併設しています。また、法人のお取引先様は国内外に及び、抹茶を中心とした日本茶の卸売りから、日本茶導入のコンサルティングやトレーニングも提供しています。



どのような商品やサービスを提供されていますか。

また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

煎茶や抹茶、焙じ茶などの日本茶をはじめ、日本茶を使った洋菓子、店舗や飲食店向けの商品開発・コンサルティングなど、幅広く手掛けています。私たちが大切にしているのは「自由で、楽しい日本茶」です。日本茶には長い歴史や文化がありますが、楽しみ方にひとつの正解があるわけではありません。産地やつくり手の個性、培ってきた製茶技術を大切にしながら、伝統にとられすぎず、お菓子や新しい飲み方も取り入れ、一人ひとりの暮らしや好みに寄り添う日本茶のライフスタイルを提案しています。

地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

枚方は高度経済成長期以前まで「河内茶」の中核を担う茶産地で、自園で製茶したお茶を中心に淀市場で販売していたのが多田製茶の始まりです。大正時代には、自家茶園の充実と合わせ製茶機械をいち早く導入し、近辺農家への営農指導と生葉の引き受けを開始するなど、河内茶の産地形成に寄与していました。かつて製造したお茶が天覧品としてお買い上げいただいた歴史もあります。現在は全国の産地から荒茶（日本茶の原料）を仕入れており、枚方で培われてきた茶の文化と製茶技術を受け継ぎ、自社工場で仕上げ・火入れ・合組を行っています。地域に根差して受け継いできた技術を、今の暮らしに合った日本茶へとつないでいくことを大切にしています。

枚方市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

枚方には、歴史を大切にしながら、新しい文化や暮らしを柔軟に受け入れてきた魅力があると感じています。京都と大阪の間に位置し、古くから人や物が行き交ってきた土地だからこそ、さまざまな価値観が自然に交わる土壤があります。私たちが160余年にわたり枚方で商いを続ける中で、時代とともに変わる暮らしや嗜好を身近に感じてきました。受け継ぐべきものを大切にしながら、新しいものを取り入れて変化していく。その姿勢は、多田製茶のものづくりにも通じています。



冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

多田製茶は160余年にわたり枚方で日本茶に携わってきましたが、お茶の世界には今も新しい発見がたくさんあります。産地や品種による香りや味の違い、お菓子との組み合わせ、新しい飲み方など、楽しみ方は人それぞれです。この冊子をきっかけに、多田製茶や日本茶を少しでも身近に感じていただければ嬉しく思います。そして、四十万市と枚方市のお互いの地域や人、食文化を知るきっかけとなり、新しい交流が生まれることを楽しみにしています。



文化・地域振興

ふるさと納税登録事業者

交野ヶ原交野節 おどり保存会

所在地：大阪府枚方市田宮本町3-22

TEL：072-395-3485

Mail：katanogaharakatanobushi@gmail.com

事業内容

| 団体紹介 |

大阪で広く歌われる河内音頭の源流といわれる交野節を次世代に繋げるため、枚方の盆踊りチーム「スターダスト河内」の有志が2017年に結成。現在は中学生以上の会員が所属し、実演・人材育成・資料保存・調査研究・広報など多方面で活動。2023年3月に大阪府無形民俗文化財記録選択に選ばれ、保護団体として登録されました。毎月第1日曜日に定期練習中。交野節の唄と踊りに興味がある方は、ぜひ一度見学へお越しください。

| 活動実績 |

これまでに食博覧会17、道頓堀戎舞台、ガンバ大阪Gステージ枚方市・交野市PRタイム、鳥取しゃんしゃん祭り前夜祭、KYOTO EXPERIMENT2024プレイベント、KANSAI伝統文化EXPO、大阪・関西万博2025交流盆踊りなど、多彩な舞台で交野節を披露してきました。2023年には万博首長連合と協働し、交野節を現代風にアレンジした「#万博音頭交野節編」を制作。国内外で披露を重ね、万博本番では枚方市代表としてEXPOアリーナの大櫓でも披露し、現在も唄い踊り継いでいます。

| 交野節の由来・歴史と魅力 |

交野節は、かつて枚方市・交野市一帯が「交野郡」と呼ばれていたことに由来する盆踊り唄で、その起源は南北朝時代の念仏踊りにさかのぼると伝えられています。地域ごとに節や踊りが異なり、尊延寺に残る節が最古とされます。枚方は古くから盆踊りが盛んな土地で、交野節は幕末から大正にかけて広まり、河内音頭の源流の一つともいわれます。音頭・お囃子・太鼓による素朴な構成と、自由に歌詞を織り込める柔軟さが大きな魅力です。

どのような商品やサービスを提供されていますか。

また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

申込者の思いやエピソードを盛り込んだオリジナルの交野節をCDで提供しています。申込から1週間程度で保存会からヒアリングシートを送付し、名前、生年月日、歌ってほしいテーマ、年表とエピソードを起承転結に分けて各400字ほど書き込んでいただきます。このシートをもとに歌詞を作成。場合によっては面談を実施し、さらに詳細を尋ねることもあります。シートを提出後、最大6か月で5分から10分ほどのオリジナル交野節を収録したCDと歌詞カードを送付します。ふるさと納税に登録することで、交野節が「枚方市の返礼品」として、カタログに載るだけでも色々な方に知ってもらう機会になり、オリジナルの交野節を受け取った方は「特別なもの」と感じていただけていると思います。また、枚方市民の皆さんにも「うちにはこんな文化があったのか」と興味をもってもらえる機会が作れると思いました。

冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

今から50年前まで、枚方市で河内音頭といえば交野節が唄われていました。時代が変わっても、枚方の風土や先人たちが育んできた交野節は、郷土の文化としてとても魅力の詰まった盆踊り唄だと確信しています！色々な方々に唄い・踊っていただき、「枚方といえば、ひらパーとTSUTAYAと交野節」と枚方市外の方に言っていられるよう、張り切ってまいります！令和の今は、新しい形の盆踊りが日本はもちろん世界中でも踊られる、まさに大盆踊り時代です。そんな中、枚方に古くから伝わる交野節を、先人の思いや工夫を大事にしながら、しなやかに変化しつつ次世代へ伝えてまいります。どうぞ応援のほどよろしくお願いいたします！

（参考）実際の歌詞で交野節を説明

①歌詞が「七七/七五/七五/」の3B
節で繰り返された節が繰り返される

②「七七」の歌詞の最後部に唄い手が
「ヨホホイホイ」と唄う。

「石川五右衛門一代記」より
河内の国は（七）石川郡（七）「ヨホホイホイ」/
【アイヤコラセドッコイセー】
石川村に（七）おきまして（五）/
【いっ】
楠木家の（七）浪人で（五）
【ソラヤットコサノサーノヨイヤサノセー】 初めに戻る



粉体関連事業

ふるさと納税登録事業者

ホソカワミクロン株式会社

所在地：大阪府枚方市招提田近1-9
TEL：072-855-2212
Mail：contact_material@hmc.hosokawa.com

事業内容

微粉体関連機器のグローバル・ニッチ・トップメーカー。グローバルな微粉体関連機器メーカーが提供する製造システムの販売やエンジニアリングなどの市場では、世界シェアは首位で、約3割を占める。日本では、独自のナノ粒子複合化技術を応用した育毛剤や化粧品、口腔ケア製品を主力とする通販事業を展開。2025年11月には研究開発・営業・販売の中核拠点「コスメティックセンター」が竣工。技術力を武器とした更なる成長を目指す。



公式HP

Instagram

どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

当社は、粉体関連装置・システムを世界中のお客様に販売していますが、国内では独自のPLGA*ナノ粒子技術を用いた育毛剤、化粧品、口腔ケア製品も販売しています。私たちのこだわりは、「成分の良さ」だけでなく、「どう届けるか」です。独自開発のPLGAナノカプセルは体内の水分でゆっくりと分解され、中の成分を徐々に放出するため、浸透力と持続力を両立しています。私たちは、目に見えないミクロン・ナノの世界を丁寧にコントロールする技術を大切にしています。その積み重ねが、お客様の毎日に寄り添う製品を生み出すと考えています。

* PLGA (ポリ乳酸・グリコール酸共重合体)：生体内で分解される「生分解性ナノ粒子」



どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

淀川の葦(ヨシ)を繊維化したヨシおてふきん、ヨシストールなどの地域ギフトを提供しています。軽くて渡しやすい、日常で使いやすいことに加え、優しい肌さわりが特徴です。そしてサステナブル繊維の商品です。贈り物を通して、人と人が気に掛け合える、地域愛あふれるのつながりを育みたい想いを込めています。

地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

商品は、淀川に自生する葦(ヨシ)という地域資源を活用しています。ヨシは水質浄化や生態系保全にも役立つ植物で、ライフスタイルの変化による未利用資源の有効活用にもつながります。また、「くらわんか舟」の歴史や、地域の繋がりをブランドの背景にし、商品展開を行っています。



冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

当社は2026年に創業110周年という節目を迎えました。長年培ってきた微粒子加工技術を活かし、育毛剤・化粧品・口腔ケア製品という形で、お客様の毎日を確かな技術で支え、生活の質を高める製品づくりに取り組んでまいりました。当社が技術を磨いてきた、淀川のほとりの枚方市と清流四万十川が流れる四万十市。それぞれ異なる個性を持つ二つのまちが、この一冊を通じてつながることを大変嬉しく思います。ふるさと納税という機会を通じて、当社の製品とともに、両市の魅力を少しでも多くの方々に届けられれば幸いです。

小売業

ふるさと納税登録事業者

株式会社リヨン洋装店 delusso

所在地：大阪府枚方市楠葉並木2-22-10
TEL：072-850-8355
Mail：info@de-lusso.com

事業内容



公式HP

Instagram

淀川に自生する葦(ヨシ)を活用した枚方発の地域ギフトブランド「くらわんかファブリック」を展開しています。肌さわりの優しいヨシおてふきん、ヨシストール等を通して、地域愛や人との繋がりが、環境保全につながる商品づくりから販売に取り組んでいます。

枚方市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

枚方市の魅力は、歴史や文化が今の暮らしに自然に繋がっていることだと感じています。淀川やくらわんか舟には地域の物語があり、さらに人と人との距離が近く、温かく気に掛け合う文化があることが大きな魅力です。そうした土地の温もりが枚方の価値だと思っています。

冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

くらわんかファブリックは、地域資源や想いを形にしたブランドです。商品を手にとっていただくことで、人のつながり、温かさ環境への優しさを感じていただければ幸いです。贈る人も贈られる人も、優しい繋がりが広がるきっかけになればうれしく思います。



食品製造業

ふるさと納税登録事業者

株式会社PLAY CRAFT
枚方燻製所

所在地：大阪府枚方市岡東町12-3 ひらがたサンプラザ3号館306
TEL：072-845-6119
Mail：info@playcraft.co.jp

事業内容

枚方市駅直結のビルで燻しています。各地のこだわり素材を、煙の力でさらに美味しく。基本的にはお酒のおつまみになるような商品を製造・販売しています。たまに枚方市の桜の木なども使用し、燻製にしています。卸売も行っていますのでお気軽にお問合せくださいませ。



公式HP

Instagram

どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

主力商品は「燻製ミックスナッツ」「燻製ポテトチップス」「燻製カマンベールチーズ」など。その他季節限定で広島の特産や北海道の帆立なども燻製し、瓶詰めにして販売しております。極力、素材が持つ味を尊重し、調味料はほぼ使わず、燻製する時間や風の力を借りて“素材以上の美味しさ”を生み出しています。



地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

毎年伸びる桜の木。枝が伐採・間引きされる度に「もったいないな～」と思い、その木を有効活用させていただき、燻製の素材として使用させていただいております。枚方の素材で、枚方で燻す。我々にしかできない試みだと思っています。

冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

弊社は本業がビール屋なので全ての商品に共通するのが「ビールに合うおつまみ」です。ご自宅でも、贈り物でも是非一度お試しいただけたら嬉しく思います。



和菓子製造販売業

ふるさと納税登録事業者

株式会社呼人堂

所在地：大阪府枚方市岡本町10-3
TEL：090-9166-2478
Mail：st@akt3.com

事業内容



公式HP

初代が京都の黒川家にて修業し、明治に大阪、枚方の地で創業致しました。当時は色々な和菓子を販売しておりましたが、現在はどら焼き(当店で「あかつき」)を専門に製造しております。皆様に喜んでいただけるよう、心を込めて製造しております。

地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

初代が京都禁裏御所御用達の黒川家で修業した技を、明治から令和まで100年以上、この地で受け継いできました。枚方の歴史とともに歩み、地域に愛される「枚方はあかつき」と誇れる銘菓へ。地元企業や行政とのコラボにも取り組み、地域の食文化を盛り上げながら、人々とのあたたかなつながりを大切に、今日も伝統の味を守り続けています。

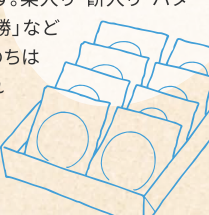
枚方市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

枚方は、淀川の舟運と京街道の宿場町「枚方宿」として栄えた、歴史ある街です。三十石船やくらわんか舟の文化が息づき、水と緑豊かな風景と、京・大阪への便利なアクセスが魅力。和と洋、人々とのつながりが調和し、温かさあふれる「宿場町の歴史と現代の暮らしが交差する」独特の風情が残っています。



どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

当店は、生地と生地の間に餡を挟んだお菓子「あかつき」(一般的には「どら焼き」)を製造・販売しています。北海道十勝産の小豆をふくらと炊き上げた甘さ控えめの自家製餡と、職人が絶妙な火加減で焼き上げる、しっとり柔らかな生地がこだわりです。餡と生地を合わせ、長くしっとり保てるよう工夫しています。栗入り・餅入り・バター入りなど全9種類を揃え、「ありがとう」「必勝」などのメッセージ焼印も承ります。和菓子のいのちは餡と皮という信念のもと、100年受け継がれてきた製法と味を守り、感謝の気持ちをお届けする「心をつなぐお菓子」づくりを大切にしています。一つひとつ丁寧に仕上げ、変わらぬ味わいを大切にしています。



株式会社北村味噌醸造場

所在地：大阪府枚方市岡本町10-2

TEL：072-844-0211

Mail：miso-kikuningyou@cameo.plala.or.jp

事業内容

北村みそ本家は、明治16年に大阪・天満で創業し、大正10年に枚方に工場を設立。戦後、現在の地で味噌づくりを続けてきた、枚方を代表する老舗味噌店です。代表商品「菊人形みそ」をはじめ、国産原材料を使った味噌や発酵食品の製造・販売を行っています。また、味噌や麹、甘酒などの発酵食品づくりを学べる教室や地域との連携にも取り組み、伝統を守りながら新しい食文化を発信しています。



公式HP



オンラインショップ

地域の自然・文化・人とのつながりを、商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

味噌は気温や湿度、そこにいる微生物など、環境によって味や仕上がりが変わる発酵食品です。長年、枚方のこの場所で作り続けてきたこと自体が、商品の味や品質につながっています。また、味噌や麹、甘酒などを作る教室を通して、作り方だけでなく家庭での使い方まで伝えています。地域の方とのつながりを大切にし、食を通じて地域の皆さんが楽しめる場づくりにも取り組んでいます。



どのような商品やサービスを提供されていますか。また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

枚方の観光に関する情報提供や、問合せ対応を行っています。枚方市内のイベントでは、くわんか餅を始めとした枚方物産や、キャラクター関連グッズ、枚方を紹介するPRグッズを販売しています。また、枚方市との友好・交流都市の商品をSyuku56にて委託販売を行っています。歴史や友好・交流都市の紹介を含め、枚方市の魅力を様々な形式で発信しています。

地域の自然・文化・人とのつながりを、商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

地域の自然・文化・人は地域の貴重な資源であり、まずスタッフ自らがフィールドワークなど現場に赴き、触れあい、交流し、感じる所から始めています。そしてそこで体感した魅力を多くの人に伝えるとともに、商品企画に活かしています。



枚方市ならではの魅力は、どのようなところにあると感じていますか。

枚方市の魅力は、いい意味での「中途半端さ」だと感じています。大阪や京都にも行きやすく、都市としての便利さがあがりながら、自然も身近で、ほどよく住みやすい街です。特に、住民同士や商売人同士のつながりが強く、「自分だけではなく、みんなで枚方を盛り上げよう」という雰囲気があります。市内だけでなく八幡市など、地域を越えて事業者同士が協力できる、人が集まりやすい街であることも枚方の魅力だと思います。

観光関連事業

特定非営利活動法人枚方文化観光協会

所在地：大阪府枚方市伊加賀東町5-37

TEL：072-804-0033

Mail：https://hirakata-kanko.org/contact

事業内容

枚方の文化観光の振興と地域経済の発展を目的に事業を展開しています。

- (1) 市立枚方宿健屋資料館の管理運営（枚方市からの指定管理）
- (2) 枚方の観光に関するパンフレットの作成と提供及び各種問い合わせへの対応と情報の提供
- (3) 主催事業の実施及び市内外のイベントへの出店や協力
- (4) マスコットキャラクターひらかた観光大使くらわんこひらにゃんこの活用
- (5) 枚方観光ボランティアガイドの派遣及び養成

枚方市ならではの魅力は、どのようなところにあると感じていますか。

まずは歴史の深さに触れられるところです。5世紀の伝王仁墓、6世紀の継体天皇、8世紀の百濟寺跡、奈良時代から平安時代の「交野ヶ原」と、長い間、日本の文化や天皇との繋がりがありました。また、15世紀頃は寺内町、17世紀からは東海道枚方宿、くずは台場と様々な見所があります。現在に目を移すと、軍需都市から住宅都市として発展し、今では大阪と京都の真ん中にある都市として都会的な便利さと東部の里山など自然の豊かさも併存している地域の中に、様々な大学やものづくり企業がたくさんあるのも枚方市の大きな魅力です。



枚方竹林工房 銀

所在地：大阪府枚方市穂谷3-4-1

Mail：ginjiro124@gmail.com

事業内容

枚方竹林工房 銀は、枚方・穂谷の竹林整備から生まれた竹を活かし、国産スパイスメンマ「枚方メンマ」をはじめとする商品づくりに取り組んでいます。竹林を守ること、地域の魅力を伝えること、そして新しい価値を生み出すことをひとつにつなげながら、里山の未来を育てる事業を進めています。

どのような商品やサービスを提供されていますか。また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

里山保全として自ら伐採・収穫した孟宗竹の幼竹を熟成させ、スパイス職人の技術で味付けした国産スパイスメンマ「枚方メンマ」の製造・販売（通販・卸売）を行っています。また、地域と連携した竹林整備体験の開催や、竹器の製作などの竹の利活用事業も手がけています。

枚方市ならではの魅力は、どのようなところにあると感じていますか。

京都、大阪へのアクセスもよく豊かな自然環境と『街』の部分のバランスがいいところが非常に魅力的だと思っています。特に私たちの活動している枚方市の東部では人の暮らしと自然との境界であるいわゆる里山と呼ばれる風景が残っており、暮らしを営む上で色々な豊かさをもたらしてくれる地域だと思います。



公式HP



地域の自然・文化・人とのつながりを、商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

放置竹林整備で収穫した国産孟宗竹の幼竹を使用し、スパイス職人の調査技術で仕上げた5種のスパイスメンマ「枚方メンマ」の販売・卸売を行っています。また、親子で楽しめる竹林整備体験や竹の器づくり、異業種と連携した竹製品・企画の展開も行なっております。一般的に厄介者とされる放置竹林の竹を「地域の宝」へ変えることを目指しています。「食べることや体験することがそのまま里山保全につながる」仕組みを作り楽しさや「もったいない」という気持ちを起点に人と人をつなぎ竹の新しい価値を地域社会に還元することを目指しています。



PROPOSED BY
一般社団法人枚方青年会議所



しまんとって、どんなまち？

最後の清流、四万十川と人が ともに暮らすまち。

山・川・海の大自然が身近に感じられる、高知県西部の暮らしどころです。
四万十川から獲れる食材など、ここでしか味わえない贅沢があります。
また、土佐の小京都とも呼ばれ、歴史、祭り、自然、漁の火
——伝統と現代の暮らしが融和したまちです。

面積 **632.29km²** 人口 約 **3.1万人** (令和8年7月末現在)

01 魅力 沈下橋

増水時に水中に没することを想定し、水の抵抗や流木の引っ掛かりを減らすため、欄干を設けない構造です。四万十川の本流・支流あわせて48橋。
(高知県「四万十川沈下橋保存方針」の対象数)



02 魅力 トンボ王国

「四万十市トンボ自然公園」と「四万十川学遊館あきついお」を合わせた総称。これまでに81種のトンボが確認された、世界初のトンボ保護区。



03 魅力 一條大祭

文久2年(1862)の一條神社建立から続く「土佐の小京都」の秋祭り。神楽と提灯が町を染めます。



04 魅力 四万十ヒノキ

四万十市を中心とした高知県西部で育つ、地域ブランドのヒノキ。家具や建築に使われています。



枚方市と、50年の縁

橋で、祭で、森で。四万十川の沈下橋でいちばん長い、全長291.6mの「佐田沈下橋(正式名称・今成橋)」。欄干のないこの橋は、増水時に水中に「沈む」ことを前提に作られています。便利さより、川とともに生きる暮らしを優先する——そんな四万十の感覚と、淀川沿いに発展した枚方の「水辺の暮らし」が、50年前に出会いました。

- 1973(昭和48)年・・・枚方JCと中村市の中村JCが「姉妹JC」に
- 1974(昭和49)年・・・友好都市提携を締結
- 1982(昭和57)年・・・両市の中学生約60名がヒノキ12,000本を植林
- 2005(平成17)年・・・中村市と西土佐村が合併し「四万十市」誕生
- 2008(平成20)年・・・枚方市制60周年を機に友好都市提携を再調印
- 2009(平成21)年・・・西土佐中学校が枚方市で販売学習を開始
- 2024(令和6)年・・・提携50周年。「第16回友好都市サミットin四万十」開催

本編では 枚方市と四万十市の 事業者あわせて20社が登場。

生姜や四万十牛、四万十ヒノキの家具、米や山の恵みから生まれた加工品——そして宿泊や川の体験まで、商品とサービスにこめたい想いと、地域とのつながりなど、一社ずつご紹介します。なかには、ふるさと納税の返礼品になっている商品もあるので、食べてみたい・使ってみいたい——その一歩の入口にしてください。50年前に生まれた縁。これから先も、「つながる力」で未来をひろげていきたい。そんな想いをこめて、お届けします。



食品製造・販売業 ふるさと納税登録事業者

株式会社山間屋

所在地：高知県四万十市西土佐長生156番地2
TEL：0880-31-6474
Mail：sankanya.nishitosa@gmail.com

事業内容

山間屋は、四万十市西土佐の豊かな自然や地域の食材、受け継がれてきた食文化を活かした商品開発・製造・販売を行っています。山間米組合員が育てたヒノヒカリを『山間米』というブランド米としての販売や、ゆず、栗、柑橘などを使い、加工品やスイーツとして商品化するとともに、地域産品の販売や通信販売にも取り組んでいます。また、道の駅「よって西土佐」内にあるケーキカフェ「ストローベール SANKANYA」では、西土佐の季節の素材を活かした手づくりのケーキや焼き菓子を提供しています。西土佐の栗で作ったモンブランが一番のおススメです。



どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

私たちは、四万十市西土佐の豊かな自然の中で育まれた農産物や地域の素材を活かした商品を提供しています。四万十市西土佐のブランド米ヒノヒカリ『山間米(さんかんまい)』や、栗、ゆず・レモンなどの農産物をはじめ、それらを使った加工品や季節の商品など、地域の魅力を感じていただける商品づくりを大切にしています。四万十川の流れる自然豊かな西土佐には、そこで暮らす人々が大切に守り、育ててきた「食の魅力」があります。私たちは、生産者の想いを大切にしながら、素材本来のおいしさをできるだけ活かし、「ここでしか味わえないもの」をお届けしたいと考えています。地域の旬や素材の良さを伝えることはもちろん、地元の魅力を知っていただき、「また四万十西土佐を訪れたい」と思っただけのような商品・サービスを目指しています。

地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

地域の自然や文化、人とのつながりを大切にしながら、四万十市西土佐ならではの「食」を商品づくりに活かしています。四万十川や山々に囲まれた豊かな自然の中で育つ農産物を、生産者の方々と協力しながら仕入れたり管理したり、旬や素材本来のおいしさを大切にしています。また、地域の方との日々の交流や、昔から受け継がれてきた食文化・知恵を商品づくりのヒントにしています。単に商品を販売するだけでなく、生産者の想いや西土佐の暮らし、地域の魅力まで一緒に届けることで、「西土佐を感じてもらえる商品」を目指しています。

四万十市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

四万十市ならではの魅力は、なんと言っても豊かな自然。そして何より食べるものが美味しい事!四万十川をはじめ、山や田畑などの美しい自然に恵まれ、四季を通じてさまざまな農産物や食材が生まれています。また、地域の人同士のつながりが強く、昔から受け継がれてきた知恵や食文化が今も大切にされています。特に西土佐では、自然と共に暮らす中で生まれる「素朴だけれど、本当においしいもの」が大きな魅力です。そうした地域の自然・食・人の温かさを、商品を通して多くの方々に感じていただけることが、四万十市の大きな魅力だと思います。

冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

この冊子を通して、四万十市の豊かな自然や食、そして地域で暮らす人々の温かさを少しでも感じていただければ嬉しく思います。四万十市には、四万十川をはじめとする美しい自然の中で育まれた、おいしい農産物や地域ならではの魅力がたくさんあります。私たちも、その魅力を大切にしながら、商品を通して皆さまにお届けしていきたいと考えています。ぜひ四万十市に興味を持っていただき、実際に足を運んで、自然や食、人との出会いを楽しんでいただければと思います。四万十は、ここにきたからこそ感じる事のできる魅力をたくさん秘めた地域だと思っています。皆さまとの新しいご縁を楽しみにしています。

ヤマサキ生姜株式会社 山崎生姜農園

所在地：高知県四万十市山路1171-1
TEL：0880-36-2072
Mail：info@y-gingerfarm.com

事業内容

当園は、日本最後の清流と呼ばれる四万十川のほとりでハウス新生姜の栽培と、生姜を使った加工品の製造・販売を行っています。2020年の開園以来、水はけの良い砂地のハウスでできるだけ農薬を使わない安心・安全な栽培を実践し、5月初旬～9月中旬の収穫期には1日約800kgを出荷。朝一番で収穫した新生姜を丁寧に手洗いし、採れたその日に全国へお届けしています。

どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

真っ白でみずみずしく、爽やかな香りが特徴のハウス新生姜と、その新生姜の種である親生姜を使ったシロップやジャム、パウダー、生姜塩などを製造・販売しています。生姜本来のおいしさを感じただけでなく、素材を生かしたシンプルな製法にこだわっています。自分たちが育てた生姜を、旬の時期だけでなく一年を通して楽しんでいただきたという想いを込め、一つひとつ丁寧に作っています。



地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

四万十川の豊かな自然に恵まれた土地で、生姜を育てています。地域の方々や飲食店、販売店とのつながりを大切に、いただいた声を商品づくりに活かしています。また、地域のイベントにも参加し、生姜を通して四万十の魅力を多くの方に届けられるよう取り組んでいます。



四万十市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

私たちの生姜は、生育から収穫後の洗浄まで、すべて四万十川の豊かな地下水に支えられています。清らかな水と温暖な気候に恵まれ、農産物をはじめ、川や海の幸など多彩な食が育まれていることが、四万十市ならではの魅力だと感じています。

冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

四万十川の豊かな地下水に育まれた新生姜を、四万十市から心を込めてお届けしています。真っ白でみずみずしく、爽やかな香りの新生姜と、そのおいしさを活かした加工品を、ぜひ一度味わってみてください。生姜を通して、四万十の豊かな自然を身近に感じていただけたらうれしいです。



YAMASAKI FARM
山崎生姜農園

Yamasaki Ginger

新ロイヤルホテル四万十

所在地：高知県四万十市中村小姓町26番地
TEL：0880-35-1055
Mail：enkai@nrh-shimanto.co.jp

事業内容

宿泊・レストラン・宴会・会議・婚礼など、幅広いサービスを提供する総合ホテルです。四万十川観光の拠点として県内外のお客様をお迎えするとともに、地域の皆様に親しまれるホテルを目指し、各種イベントや地域交流を通じて四万十市の魅力発信にも取り組んでいます。



地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

四万十川を中心とした遊覧船やカヌー、SUP、サイクリングなどのアクティブな観光に加え、「小京都中村」と呼ばれる歴史ある町並みや文化、祭り、食など、地域ならではの魅力を観光や宿泊と結び付けたご提案を行っています。ただ名所を巡るだけではなく、地域の人々の暮らしや想いに触れていただける旅を大切にしています。また、周辺のウォーキングマップを12～13種類をご用意し、お客様それぞれの興味に合わせて四万十の魅力を満喫していただけるよう努めています。



四万十市観光協会公式キャラクター

どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

観光案内やレンタサイクル、旅行商品の造成・販売、パンフレットやSNSを通じた情報発信、地域イベントの企画・運営など、四万十市を楽しんでいただくためのさまざまなサービスを提供しています。私たちが大切にしているのは、四万十川の美しい自然だけでなく、そこで暮らす人々や地域に根付く文化、四万十ならではの魅力も一緒に伝えることです。また、しにゃんこの活動を通じて、より多くの方に四万十市を知っていただくきっかけづくりにも取り組んでいます。「四万十に来てよかった」「また訪れたい」と思っていただけの観光を目指しています。



四万十市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

四万十市の魅力は、550年以上の歴史を持つ「小京都中村」の文化と、今も受け継がれる祭りにあると感じています。一條神社の一條大祭や不破八幡宮の神様の結婚式、よさこい四万十など、歴史と新しい文化が共存していることも大きな魅力です。また、海・山・川が近く、新鮮で豊かな食材に恵まれているため、地元の飲食店はどこをご紹介しても高い評価をいただいています。歴史・自然・食を一度に楽しめることが、四万十市ならではの魅力だと感じています。

一般社団法人四万十市観光協会

所在地：高知県四万十市駅前町8-3
TEL：0880-35-4171
Mail：info@shimanto-kankou.com

事業内容

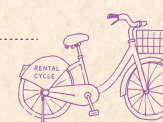
四万十川をはじめとする豊かな自然や歴史・文化など、四万十市の魅力を活かした観光客の誘致や情報発信、観光案内、イベントの企画・運営、旅行商品の造成などを行っています。また、四万十市の魅力を発信するキャラクター「しにゃんこ」の活動を通じたPRにも取り組み、観光を通じた地域の活性化を目指しています。

四万十市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

四万十市ならではの魅力は、四万十川をはじめとする豊かな自然と、そこから育まれた文化や暮らし、人とのつながりを感じられることです。天然鮎や川エビなど、自然の恵みを活かした食も魅力の一つ。観光だけでなく、地域の人と出会い、自然・文化・食を実際に体験できることが、四万十市の魅力だと思います。

冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

四万十市には、四万十川をはじめとする豊かな自然や、そこに根付く文化、地域の人々との温かなつながり、そして自然の恵みを活かしたおいしい食など、ここでしか味わえない魅力がたくさんあります。ぜひ実際に四万十市を訪れて、景色を見るだけでなく、地域の人と出会い、食を楽しみ、自然や文化を体験してみてください。訪れるたびに新しい発見や出会いがあると思います。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



公式HP



Instagram

食品製造業

ふるさと納税登録事業者

有 限 会 社 四 万 十 食 品

所在地：高知県四万十市井沢744-1
TEL：0880-35-4966
Mail：shimantogawa-ss@ec4.technowave.ne.jp

事業内容

当社は高知県西部・四万十川の河口から約5kmの場所に位置し、清流四万十川や近隣地域の豊かな自然の恵みを活かした、安全で高品質な加工食品の製造をおこなっている会社です。自然環境や生産者様との共生を第一に考えながら、1999年の創業以来、常にお客様を笑顔にする商品づくりを目指して努力を重ねています。代表的な製造品は「ドレッシング」「のり佃煮」「おかず味噌」などで、「うなぎ蒲焼」なども取り扱っています。



四万十食品ストア

どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

主に四万十産など高知県産の原材料を主原料に使用した商品を生産しています。具体的には、四万十市および四万十町で生産されているトマト、人参、玉ねぎ、大根、柚子、大葉を使用した6種類のドレッシング、同じく四万十産の生姜、柚子を使用したのり佃煮とおかず味噌、四万十産の豚肉を使用した2種類のおかず味噌と高知県産の鶏肉を使用したおかず味噌などがあります。これらは全て地元の農家様やJA様などと連携して集めた原材料であり、私たちの地元四万十市周辺の生産者様とともに成長していきたいという想いが込められています。



地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

地域の土地や気候、季節に合った野菜をつくることを基本にしています。その土地の環境で無理なく育つ野菜は、元気でおいしく、地域ならではの味や彩りを届けられると考えています。化学合成農薬の使用回数を削減し、有機肥料とJAS認証農薬を使用することで、微生物や生物多様性を守り、人の手が入った自然の美しさを次世代に残せるよう努めています。また、昔から人々が田畑を耕し、食をつないできた文化への感謝を大切にしています。規格外の野菜も販売し、形のおもしろさや個性を含めて味わってもらうことで、生産者と地域の人、食べる人とのつながりを育み、田んぼや畑のある懐かしい風景を守ることにつなげています。



四万十市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

四万十市は、山→川（四万十川）→海（太平洋）という自然のつながりをひとつの地域で感じられるところで、四万十川と人の暮らしが今も自然形で繋がっています。鮎、うなぎ、川えび、青のりなど川の幸が知られているように、伝統的な川漁も受け継がれており、「川があるから食文化と暮らしがある」という関係性があります。忘れがちですが田畑にも勿論この四万十川の水が注がれており、「自然がきれい」だけではなく、「自然が暮らしになり、暮らしが文化になり、その文化が今も残っている」のが四万十市の一番の魅力だと思います。

農業

ふるさと納税登録事業者

アグリユウベ

所在地：高知県四万十市不破1786
TEL：080-1991-7274
Mail：agriyube@gmail.com

事業内容

露地野菜栽培、販売。2019年から農業に取り組み、化学合成農薬の使用を削減し、有機肥料とJAS認証農薬で、栄養価の高いおいしい野菜を育てています。除草剤や殺虫剤、殺菌剤の使用を抑え、環境や生き物の多様性を守る栽培を大切にしています。土地や気候、時に合った季節の野菜を、規格外のものも含めてすべて販売。田んぼや畑のある風景を未来に残しながら、おいしい野菜づくりを続けています。



Instagram



四万十市ならではの魅力は、
どのようなところにあると感じていますか。

四万十市ならではの魅力は、四万十川を中心に、山・川・海の自然と人の暮らし、文化がつながっているところだと感じています。川の流れに寄り添う沈下橋の風景や、河口の汽水域で採る青さのりや、川で育つ鮎・川えびなど、自然の恵みを身近に感じられることが魅力です。こうした環境が、土地や季節に合った農作物のおいしさを育てていると考えています。また、「土佐の小京都」と呼ばれる中村の町並みや、地域で受け継がれてきた一條大祭には、先人から続く歴史と人の温かさが息づいています。私たちも自然や文化への感謝を忘れず、規格外の野菜も含めて大切に届けながら、四万十らしい風景と食を次の世代へつないでいきたいと思っています。

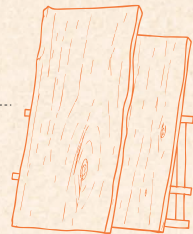
製材業

佐竹木材有限会社

所在地：高知県四万十市藤岡乙2080番地1
TEL：0880-32-1100
Mail：satamoku@hatarakunet.jp

事業内容

私たちは、高知県四万十市で製材業を営んでいます。桧（ヒノキ）の役物を中心に、丸太を角材や板材などへ加工しています。幅広ラミナや一枚板の販売にも取り組み、構造用JAS目視等級を取得し、建築用材やテーブル向けの木材を提供しています。昔ながらの台車を使った製材と天然乾燥にもこだわり、地域の木材資源を生かしながら、木の魅力を感じられる製品を用途に応じて丁寧にお届けしています。



どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

桧役物製材所として、役物、並材、流通、小売り問わず、お客様のニーズにスピード感を持って迅速にお届けするようにさせていただいています。桧役物を得意とする製材所として、役物をはじめ、並材まで幅広く取り扱っています。流通業者様から小売店様、個人のお客様まで、販売先を問わず、それぞれの用途やご要望に合わせた木材をご提案しています。必要な材が必要なタイミングでお届けできるよう、お客様とのコミュニケーションを大切に、スピード感を持った対応を心がけています。木材の魅力や可能性をより多くの方に感じていただけるよう、一つひとつの商品に責任とこだわりを持って、迅速かつ丁寧にお届けしています。



どのような商品やサービスを提供されていますか。
また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

未経産のメスの黒毛和牛『四万十牛』を商標登録し、グループ会社の横山畜産が育てる四万十牛を牧場から1頭買い〜自社の焼肉屋や精肉店で販売しています。1頭1頭品質を確認し牧場へフィードバックすることで、日々高品質な牛が作れるよう進化しています。



地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

高知県四万十市という田舎で佐竹木材があってよかった。と言っていたように地域に地元で嫌われない会社をモットーに営んでおります。



冊子をご覧になる皆さまへ
メッセージお願いいたします。

弊社ページをご拝読いただきありがとうございます。製材所というマイナーな仕事をしておりますが少しでも多くの方々に知っていただきたく日々頑張っております。ご拝読いただいた皆様がほんの少しでもご興味を持っていただけると嬉しく思います。

食肉販売・飲食業

ふるさと納税登録事業者

株式会社四万十牛本舗
四万十牛本舗 横山精肉・焼肉よこやま

所在地：高知県四万十市西土佐江川崎2665
TEL：0880-52-1229
Mail：shimantogyuhonpo@gmail.com

事業内容

私たちは四万十市を拠点に、希少な黒毛和牛「四万十牛」の魅力を広げるため、食肉販売（小売り・卸売り）や通信販売、飲食店（焼肉店）の運営を行っています。ご家庭の食卓から贈り物、外食まで上質なおいしさを届け、食を通じて四万十の魅力と地域の元気を発信し、市民の皆さんに親しまれる店づくりに取り組んでいます。



公式HP



LINE通販



地域の自然・文化・人とのつながりを、
商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

私たちは、四万十川流域の豊かな自然と地域とのつながりを四万十牛づくりに活かしています。きれいな自然水と静かでストレスの少ない環境で牛をのびのび育て、やわらかな肉質と上質な脂のうまみを引き出しています。さらに、地域の方やお客様の声を商品や店づくりに反映し、精肉販売や焼肉店を通じて四万十の魅力を発信しています。地域の恵みを大切にしながら、四万十牛のおいしさと魅力を多くの方に届け、地域とともに歩いていくことを大切にしています。



欧風洋菓子専門店 アマンド

所在地：高知県四万十市中村大橋通4丁目34番地
T E L : 0880-35-4750
M a i l : sucre@kzc.biglobe.ne.jp

事業内容

1968年創業の高知県四万十市(旧中村)に店舗を構える県内初の洋菓子専門店です。一番人気のシュークリームを中心に、季節のフルーツを使ったケーキや焼き菓子、プリン、ロールケーキなどを製造・販売し、定番人気の「ゴールデンロール」をはじめ、世代を超えて愛される昔ながらの味をお届けしています。手頃な価格で、日々のおやつから手土産・贈り物、バースデーケーキのご予約にも対応し、地域に根ざした洋菓子店として親しまれています。

どのような商品やサービスを提供されていますか。

また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

一番人気のシュークリームを中心に、ケーキや焼き菓子など、さまざまな洋菓子を販売しています。何よりこだわっているのは鮮度です。作りおきはせず、その日のうちに召し上がっていただくことを前提に、出来立てのおいしさをお届けしています。

地域の自然・文化・人とのつながりを、

商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

当店の常連のお客様は、地元の方が大半です。アットホームな接客を心がけています。1968年の創業以来、流行に左右されず、変わらないおいしさを届け続け、世代を超えて、長く通うファンの方々に親しまれています。



Instagram



冊子をご覧になる皆さまへ

メッセージお願いいたします。

枚方市と四万十市との友情
は永遠です。枚方の皆さん、
機会があれば、ぜひ
四万十市にお越しください！



観光・レジャー業

with RIVER (ウィズリバー)

所在地：高知県四万十市三里1841
T E L : 090-6556-4549
M a i l : withriver.info@gmail.com

事業内容

高知県四万十市を流れる四万十川で、SUP・カヌー(カヤック)を使ったガイドツアーを開催しています。初心者やお子さま連れのご家族にも楽しんでいただけるおてがるコースから、四万十川をゆったり下る半日ツアーまで、川の状況や季節に合わせて四万十川の魅力を案内しています。

地域の自然・文化・人とのつながりを、

商品やサービスづくりにどのように活かしていますか。

四万十川は、季節や天候、水量によって毎日表情が変わります。そのため、その日の川の様子を見ながら、一番楽しめる遊び方をご案内しています。沈下橋のある風景や、川とともに暮らす地域の日常も四万十ならではの魅力です。地域に暮らしているからこそ伝えられる四万十川の面白さを、体験を通して感じてもらうことを大切にしています。

四万十市ならではの魅力は、

どのようなところにあると感じていますか。

四万十市の魅力は、四万十川が「観光地」であると同時に、今も地域の暮らしのすぐそばにあることだと思います。沈下橋を渡り、川で遊び、季節ごとに変わる景色を眺める。そんな日常の中に、訪れた方にとって特別な風景があります。有名な場所を見るだけでなく、川の上で風や水を感じながら過ごすことで、四万十のゆったりとした時間まで楽しんでもらえるのが、この地域ならではの魅力です。



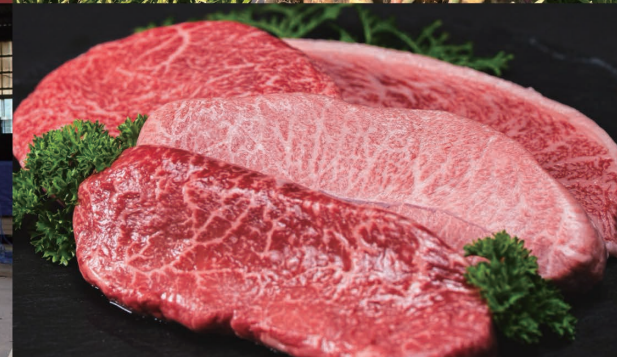
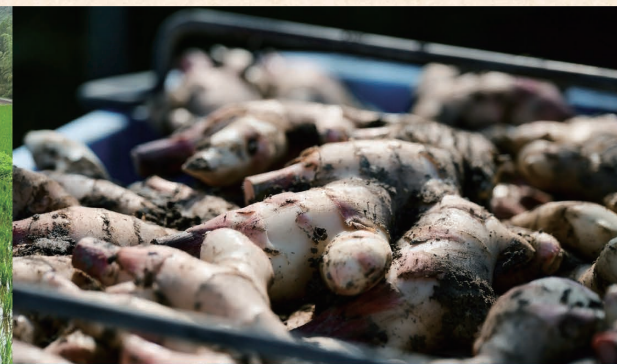
公式HP



どのような商品やサービスを提供されていますか。

また、商品やサービスに込めた想いやこだわりを教えてください。

四万十川でSUPやカヌー(カヤック)を使ったガイドツアーを開催しています。私たちが大切にしているのは、ただ川を漕ぐだけではなく「四万十川で過ごす時間そのもの」を楽しんでもらうこと。川に浮かんで景色を眺めたり、泳いだり、沈下橋から飛び込んだり。初めての方にも安心して楽しんでいただきながら、その日の四万十川だからこそできる体験をご案内しています。



PROPOSED BY
一般社団法人中村青年会議所

庭園設計・施工・管理
土木工事 伐採・除草工事等



株式会社
井上造園

代表取締役 井上 杜 宏

〒573-0163 大阪府枚方市市長尾元町 1-33-67
TEL:072-860-7093 FAX:072-807-8866
mail:inouezouen1013@gmail.com

林 知成
Hayashi Chisei
工務課



植田興業株式会社

〒787-0050
高知県四万十市渡川1丁目10-25
Tel 0880-37-2311 Fax 0880-37-1014
Mail csi.hayashi1102@gmail.com



大規模改修工事全般
防水・シーリング工事

代表 中井 規 仁

〒615-8123
京都府京都市西京区山路12番地1クランシア303
Tel:080-3821-4644 Fax:075-278-7626
E-Mail:nakaikougyou0422@gmail.com



株式会社**中野重機**

〒573-0076

枚方市東香里元町10番55号
072-854-0955

Nexus
Sign maker SIGN・TENT・NEON・LED

林 勇太
Yuta Hayashi

〒576-0051
大阪府交野市倉治7丁目32-3 岫道102
tel:072-896-8832
fax:072-845-6897
mail:nexus.katano@gmail.com
mobile:080-1520-9087

さかながおい! 海鮮酒場
うお心

海鮮酒場うお心 枚方市駅店

大阪府枚方市岡東町12-3-313
ひらかたサンプラザ3号館 3F

海鮮酒場うお心 楠葉店
大阪府枚方市町楠葉1-3-5



株式会社 **辻 電 工**

専務取締役 辻 輝 樹

〒614-8066 京都府八幡市大芝60番地2
TEL 075-874-2527 FAX 075-874-2578
E-mail t-tsujidenko@tiara.ocn.ne.jp

柔道整復師



かたぎり接骨院

院長 片桐祐太

〒573-1146 枚方市牧野阪2-7-14
072-808-8200
kclab.2023@gmail.com



焼肉 **てつ**

厳選された上質な和牛を提供しております!

御予約受付中

〒573-1107 枚方市楠葉中町1-5
TEL:072-894-9366

JOB グループ
枚方市渚西1-22-10

(株) ジョブ建設
(株) JOB設備保障
(株) ケイトアール

総合建築業



株式会社ヤマゲン工務店
YAMAGEN KOUMUTEN

代表取締役 山 元 孝

〒573-1155 大阪府枚方市招提南町1-56-6-101
TEL:072-807-4114 FAX:072-807-4124
mail:yamamoto@yamagen-gy.com

シャッターの販売/施工/メンテナンス
外構工事/カーポート/エクステリア全般
内装リフォーム/水回り工事一式



株式会社**C-NEXT**

代表取締役 西 本 慧 介

〒570-0032 大阪府守口市菊水通2丁目10-1 菊水ビル108号
TEL: 06-6780-9966 FAX: 06-6780-4066
Mail: info@c-next.ne.jp HP: https://c-next-lp.jp

NYTH Co.,Ltd
http://nyth.co.jp/

■**NYTH**

代表取締役 大阪府知事(2)第60041号

西村 弘樹 hiroki nishimura

株式会社 NYTH

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満3-6-22 日宝北大阪屋ビル502
TEL 06(6315)1011 FAX 06(6315)1012 携帯 080(9709)9348



Construct Eto Co.,Ltd

コンクリート二次製品据付専門

株式会社**コンストラクト エトウ**

573-0015 大阪府枚方市村野東町29-26
TEL 072-898-8753 / FAX 072-898-8754
MAIL info@c-eto.co.jp

芸能プロダクション

YELLOWCAB
KYOTO

モデル・俳優・アイドル・ダンサー

京都から世界へ

未来ある人材の発掘・育成

『あなたの夢を叶えます』

Padg GROUP

代表取締役

桑田 啓祐

〒603-8105
京都市北区小山西玄以町1-4
TEL 075-741-6676



建 築 塗 装



MIYATA KENSOU

宮 田 海

OFFICE 京都府八幡市八幡福緑谷146-53
TEL 080-4193-5124
MAIL miyatakensou1512@outlook.jp



SHIMANTO
有限会社 四万十電機

代表取締役 茶 畑 昭

〒787-0019

高知県四万十市具同6123-1
info@shimantodenki.com